

科目名		授業形態	担当教員名	
内部障害理学療法学Ⅰ		講義	酒巻 直美・井ノ元 宏希	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
運動における循環系、代謝系の反応を復習し、内部障害について理解する。代表的な疾患である循環器疾患、糖尿病、慢性腎臓病等の病態、症状、障害を理解し、それぞれの包括的リハビリテーション、理学療法について学習する。				
授業の到達目標				
1. 循環系、代謝系の生理的反応を説明できる。2. 代表的な疾患の病態、症状、障害を説明できる。3. 代表的疾患の包括的リハビリテーション、理学療法について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	内部障害総論			
2	運動処方総論			
3	不整脈と心電図			
4	心臓リハビリテーション総論		(井ノ元)	
5	心臓リハビリテーション：運動負荷試験(CPX)		(井ノ元)	
6	心臓リハビリテーション：疾患別(1) 心不全		(井ノ元)	
7	心臓リハビリテーション：疾患別(2) 虚血性心疾患		(井ノ元)	
8	心臓リハビリテーション：疾患別(3) 不整脈・閉塞性動脈疾患		(井ノ元)	
9	心臓リハビリテーション：疾患別(4) 心臓血管外科術後		(井ノ元)	
10	糖尿病の理学療法(1)			
11	糖尿病の理学療法(2)			
12	糖尿病の理学療法(3)			
13	腎臓リハビリテーション(1)			
14	腎臓リハビリテーション(2)			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	90%			
レポート・課題	10%	小テスト、課題を実施する。課題提出の場合、形式や提出期限を守らない場合は減点する。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
最新理学療法学講座 内部障害理学療法学		高橋哲也 編著	医歯薬出版	
自由記載	随時資料を配布する。			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
シンプル理学療法学シリーズ		細田多穂 監修	南江堂	
内部障害理学療法学テキスト 改訂第4版				
自由記載				
備考				
解剖学、生理学、内科学の内容を復習して授業に臨むこと。				